

資料3

I ③ 経営健全化計画の実施状況報告の概要について

○経営健全化計画の実施状況の報告を行った団体

事業区分	都道府県名	市区町村	会計名	概要掲載 ページ数
水道事業	北海道	釧路町	水道事業会計	1
交通事業	青森県	八戸市	自動車運送事業会計	2
	愛知県	名古屋市	自動車運送事業会計	3
	京都府	京都市	京都市高速鉄道事業特別会計	5
			京都市自動車運送事業特別会計	6
	佐賀県	佐賀市	自動車運送事業会計	7
	熊本県	熊本市	交通事業会計	8
病院事業	北海道	美唄市	病院事業会計	10
		深川市	病院事業会計	11
		由仁町	国民健康保険由仁町立病院事業会計	12
	青森県	板柳町	国民健康保険板柳中央病院事業会計	13
		一部事務組合下北医療センター	病院事業会計	14
		北部上北広域事務組合	病院事業会計	16
	兵庫県	三木市	病院事業会計	17
市場事業	北海道	釧路市	釧路市公設地方卸売市場事業会計	19
	大阪府	大阪市	中央卸売市場事業会計	20
	山口県	岩国市	市場事業特別会計	22

事業区分	都道府県名	市区町村	会計名	概要掲載 ページ数
と畜場事業	徳島県	徳島市	徳島市立食肉センター事業 特別会計	24
宅地造成事業	青森県	青森県新産業都 市建設事業団	桔梗野工業用地造成事業会 計	26
			百石住宅用地造成事業会 計	28
	鳥取県	米子市	流通業務団地整備事業特別 会計	30
	山口県	下関市	臨海土地造成事業特別会計	31
	香川県	坂出市	坂出港港湾整備事業特別会 計	32
下水道事業	青森県	黒石市	下水道事業会計	33
観光施設事業	青森県	弘前市	岩木観光施設事業特別会計	34
		黒石市	温泉供給事業特別会計	35
			観光施設事業特別会計	36
	石川県	白山市	白山市観光事業特別会計	37
	奈良県	宇陀市	保養センター事業特別会計	38
	山口県	美祢市	観光事業特別会計	40
	高知県	高知市	国民宿舎運営事業特別会計	41
その他事業	北海道	釧路市	釧路市設魚揚場事業会計	43

北海道釧路町 水道事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費等の削減については、当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画より前倒しで実施。(389,626千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
当初計画 A			88,781	88,601	86,658	346,149
解消実績額 B			97,474	113,441	287,584	—
現在計画 C			—	—	287,584	111,690
B-A 又は C-A			8,693	24,840	200,926	△234,459
資金不足額		610,189	512,715	399,274	111,690	—

備考 「現在計画C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初年度 の前年度		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)		平成 24 年度 (第 4 年度)	
		実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	
資金不足比率		207.9	178.9	174.6	150.4	134.5	120.9	37.6	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 釧路町再生緊急プランの進捗管理状況と整合性を図っている。

青森県八戸市 自動車運送事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・組織、定員及び給与については、当初計画どおり正職員の退職者不補充を実施（臨時職員で補充）。
- ・料金その他の収入については、市内路線バス 300 円上限運賃化実証実験を実施した他、新たな企画乗車券の販売並びに広告収入の増収対策及びサービス向上についての検討を実施。
- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。（408,652 千円）
- ・経営基盤の強化については、路線再編を実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
当初計画 A			126,430	49,596	122,497	253,701
解消実績額 B			186,834	88,332	108,023	—
現在計画 C			—	—	108,023	231,736
B-A 又は C-A			60,404	38,736	△14,474	△21,965
資金不足額		884,600	697,766	609,434	501,411	79,731

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初年度 の前年度		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)	
		実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	
資金不足比率		66.9	60.6	55.1	59.4	50.5	50.6	41.8	7.1

愛知県名古屋市 自動車運送事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 資金不足額：平成 23 年度の実績額 49 億円。計画額 77 億円より 28 億円の改善。
 [28 億円の内訳]
 平成 22 年度までに 26 億円の改善
 平成 23 年度に 2 億円の改善
 (
 - ・ 収入増加方策の効果額が計画を 4 億円下回った。
 - ・ 支出抑制方策の効果額が計画を 11 億円上回った。
 - ・ 一般会計補助金を計画より 5 億円縮減した。
)
- ・ 資金不足比率：平成 23 年度の実績値 26.1%。計画値 39.6%より 13.5 ポイントの改善。
- ・ 収入増加方策
 ICカード「mana」の普及促進など積極的な乗客誘致に努めたものの、東日本大震災の影響等により運輸収益が計画を下回ったことなどから、効果額は計画を 4 億円下回った。
- ・ 支出抑制方策
 給与カットの継続及び生涯賃金で約 20%の減となる給料表への全面的な移行など人件費の抜本的な効率化や、燃料費など経費の節減等の効果額は、計画を 11 億円上回った。
- ・ 自動車運送事業の経営基盤安定化方策
 バス事業運営費負担金の充実を計画どおり行った。
- ・ 自動車運送事業会計への他会計からの出資
 高速度鉄道事業会計及び一般会計から、計画どおり出資を行った。

2 資金不足額解消の状況

(単位：億円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
当初計画	A		△9	28	9	4
解消実績額	B		5	40	11	—
現在計画	C		—	—	11	4
B-A 又は C-A			14	12	2	0
資金不足額		105	100	60	49	45

年度 区分	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)	平成 28 年度 (第 8 年度)
当初計画 A	5	2	11	16
解消実績額 B	—	—	—	—
現在計画 C	5	2	11	16
B-A 又は C-A	0	0	0	0
資金不足額	40	38	27	11

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	55.3	61.0	53.6	44.9	31.7
				39.6	26.1
					37.7

年度 資金 不足比率	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)	平成 28 年度 (第 8 年度)
	計画値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	35.1	34.1	28.0	19.9

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ お客様サービスの向上

アイドリングストップシステム付きの最新排ガス規制適合車の購入や、西部医療センターの開院にあわせた、バス系統の同センター内の交通広場への乗り入れなど、安心・安全で快適なサービスの提供に努めた。

- ・ 活力ある職場づくり

「人財育成プログラム」を試行実施するなど、職員がいきいきと働くための職場づくりに努めた。

- ・ 計画の進行管理

外部有識者の意見をふまえ進行管理を行うため設置した名古屋市交通事業経営健全化委員会を、5月及び11月に開催した。

京都府京都市 京都市高速鉄道事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・収入増加策については、副市長を本部長とする「京都市地下鉄5万人増客推進本部」の下での全庁を挙げた増客の取組の推進、地下鉄開業30周年記念事業をはじめとする沿線での集客イベントの開催、駅ナカビジネスの拡大などを計画どおり実施。
- ・コスト削減策については、総人件費の削減、高金利建設企業債の借換による利息負担の軽減、経常経費の削減などを計画どおり実施。
- ・一般会計支援等の拡充については、地下鉄京都駅賑わい創出事業への出資を行うとともに、一般会計からの経営健全化対策出資及び市バス事業への補助金削減分を財源とした高資本費対策補助金を計画どおり繰入れ。(14,344,231千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	平成30年度 (第10年度)
当初計画 A		1,728,774	137,596	2,590,235	3,870,569	6,699,503
解消実績額 B		4,554,145	8,582,715	4,034,069	—	—
現在計画 C		—	—	4,034,069	3,870,569	6,699,503
B-A 又は C-A		2,825,371	8,445,119	1,443,834	—	—
資金不足額	30,981,281	26,427,136	17,844,420	13,810,351	9,939,782	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初年度の前年度 実績値	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	133.5	126.8	114.5	125.7	76.2	114.0	57.8

年度 資金不足比率	平成24年度 (第4年度)	平成30年度 (第10年度)
	計画値	計画値
資金不足比率	96.9	—

京都府京都市 京都市自動車運送事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・収入増加策については、鉄道との乗継利便性向上や観光系統の充実をはじめとする増客に向けた系統・ダイヤの編成、広告付きバス停留所やベンチの整備によるバス待ち環境の向上などを計画どおり実施。
- ・コスト削減策については、総人件費の削減、バス車両の更新年数の延伸などを計画どおり実施。
- ・一般会計からの補助金については、生活支援路線補助金、市バスの購入費に対する補助金の縮減を計画に基づき実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	平成27年度 (第7年度)
当初計画 A			1,616,994	232,748	827,000	1,221,000	1,288,000
解消実績額 B			2,797,389	1,554,838	2,157,308	—	—
現在計画 C			—	—	2,157,308	1,221,000	1,288,000
B-A 又は C-A			1,180,395	1,322,090	1,330,308	—	—
資金不足額	11,382,717		8,585,328	7,030,490	4,873,182	3,652,182	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率		59.7	52.5	45.9	50.2	37.4	45.7	25.9

資金 不足比率	年度	平成24年度 (第4年度)	平成27年度 (第7年度)
		計画値	計画値
資金不足比率		39.4	13.4

佐賀県佐賀市 自動車運送事業会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 給与支給額の抑制については、当初計画どおり実施（平均4%カット）
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施（150,000千円）

2 資金不足額解消の状況

（単位：千円）

区分	年度	計画初年度 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)
	当初計画 A			△1,361	151,321	159,736	150,557
解消実績額 B			43,042	183,103	172,785	—	—
現在計画 C			—	—	172,785	150,557	141,673
B-A 又は C-A			44,403	31,782	13,049	—	—
資金不足額	659,057		616,015	432,912	260,127	109,570	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

（単位：％）

資金 不足比率	年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	計画値	実績値
資金不足比率	101.0	103.8	95.0	77.6	64.4	51.6	39.3

資金 不足比率	年度	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)
		計画値	計画値
資金不足比率		29.5	8.5

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 計画内容を市民に広く周知するため、市及び交通局のホームページに経営健全化計画を掲載するとともに、市の広報誌に実施状況の概要を掲載。

熊本県熊本市 交通事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・バス事業の移譲
H23年4月に、上熊本営業所管轄6路線を移譲
- ・利用促進に向けた取り組み
九品寺交差点電停のバリアフリー化工事、JR新水前寺駅と新水前寺駅前電停の結節工事を実施 など
- ・経営の合理化
職員数を246人から204人へ削減、管理職手当10%及び職員給料のカット、国給料表(1表、2表)への切替えを実施 など
- ・経営基盤の強化
バス事業の移譲先へバス車両等の売却、楠団地駐車場用地の売却及び上屋付電停への広告枠の新設 など

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)
当初計画 A		542,387	652,455	324,332
解消実績額 B		608,409	747,002	717,606
現在計画 C		—	—	717,606
B-A 又は C-A		66,022	94,547	393,274
資金不足額	5,533,795	4,925,386	4,178,384	3,460,778

年度 区分	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)
当初計画 A	380,815	987,495	677,713	1,883,751
解消実績額 B	—	—	—	—
現在計画 C	380,815	987,495	677,713	1,883,751
B-A 又は C-A	—	—	—	—
資金不足額	3,079,963	2,092,468	1,414,755	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	198.2	206.2	202.1	182.1	176.0	171.1	153.5

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
	計画値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	156.8	117.9	104.8	4.7

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・資金不足比率を経営健全化基準未滿とするための各方策について検証・評価を行う検証シートを作成・公表し、経営健全化計画の着実な実施を図った。

北海道美唄市 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費等の削減については、当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画より前倒しで実施。(648,018 千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A			12,769	△87,160	54,438	373,920
解消実績額 B			37,901	△48,522	260,826	—
現在計画 C			—	—	260,826	373,920
B-A 又は C-A			25,132	38,638	206,388	—
資金不足額		1,492,513	1,454,612	1,503,134	1,242,308	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初年度 の前年度		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)		平成 27 年度 (第 7 年度)	
		実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	
資金不足比率		134.0	115.8	113.6	120.1	126.9	115.6	100.8	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 市民に信頼される病院づくりについては、概ね計画どおり実施。
- ・ 経営形態の見直しについては、計画どおり実施。

北海道深川市 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費等の削減については、当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。(1,059,034千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成27年度 (第7年度)
当初計画 A			△138,000	△2,000	218,000	203,000
解消実績額 B			△66,082	218,803	199,222	—
現在計画 C			—	—	199,222	203,000
B-A 又は C-A			71,918	220,803	△18,778	—
資金不足額		1,543,168	1,609,250	1,390,447	1,191,225	409,225

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初年度 の前年度		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)		平成27年度 (第7年度)	
		実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	
資金不足比率		41.1	47.9	45.1	46.2	38.9	39.6	32.6	18.5

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 「深川市立病院経営健全化計画外部評価委員会」を設置し、評価結果をホームページで公表。

北海道由仁町 国民健康保険由仁町立病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費等の削減については、当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。(251,503千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成25年度 (第5年度)
当初計画 A			72,112	77,100	84,100	73,700
解消実績額 B			73,683	86,711	76,059	—
現在計画 C			—	—	76,059	73,700
B-A 又は C-A			1,571	9,611	△8,041	—
資金不足額		441,461	367,778	281,067	205,008	45,908

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初年度 の前年度		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)		平成25年度 (第5年度)	
		実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	
資金不足比率		135.1	106.9	105.3	84.3	77.0	57.7	53.0	13.6

青森県板柳町 国民健康保険板柳中央病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・人件費の抑制については、当初計画どおり看護師を患者数に応じて弾力的に配置し、可能な限り少ない人数で対応。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
当初計画 A			72,975	59,984	59,227	66,371
解消実績額 B			80,136	104,568	94,928	—
現在計画 C			—	104,568	94,928	66,371
B-A 又は C-A			7,161	44,584	35,701	—
資金不足額		468,071	387,935	283,367	188,439	56,975

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初年度 の前年度		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)	
		実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	
資金不足比率		63.2	52.3	52.0	44.9	35.6	36.1	24.3	18.9

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・収入確保のため、脳卒中や心筋梗塞予防に有効な超音波診断装置による検査推進、弘前大学医学部附属病院と患者の相互紹介など機能連携推進。
- ・薬品在庫管理発注システムを更新し、薬品の在庫管理を行うことにより薬品費を節減。
- ・細やかな患者サービス提供のため、患者等へ休診や医師交代等の診療医師情報を電子メールで配信。

青森県一部事務組合下北医療センター 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

【むつ総合病院】

- ・第五次病院事業経営健全化措置により平成20年度までに講じてきた収益確保及び費用削減策を、当初計画どおり継続して実施。

【むつりハビリテーション病院】

- ・一般会計からの繰入れ(27,894千円)により、当初計画どおり平成21年度末で資金不足解消。

【川内診療所】

- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。(480,620千円)

【大畑診療所】

- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画よりも増額して実施。(497,403千円)

【脇野沢診療所】

- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画よりも増額して実施。(97,086千円)

【大間病院】

- ・一般会計からの繰入れを当初計画よりも増額して実施した(247,176千円)こと等により、当初計画より2年前倒しで資金不足解消。

【佐井地区診療所】

- ・人件費については、当初計画どおり事務職の給与費削減を実施。(給与2%カット、期末・勤勉手当5%カット)
- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画よりも増額して実施。(65,223千円)

【風間浦診療所】

- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画よりも増額して実施。(143,258千円)

【東通地区診療所】

- ・一般会計からの繰入れにより、当初計画どおり資金不足はない。(62,000千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
当初計画	A		754,186	788,713	1,075,585	1,662,216
解消実績額	B		749,347	1,050,185	1,020,932	—
現在計画	C		—	—	1,020,932	1,517,944
B-A 又は C-A			△4,839	261,472	△54,653	△144,272
資金不足額		5,975,406	5,226,059	4,175,874	3,154,942	1,636,998

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)		平成 24 年度 (第 4 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	51.8	44.7	45.1	38.4	35.5	28.9	28.2	14.6

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・平成 25 年度末までに、むつ総合病院以外の病院及び診療所を所在市町村へ移管することについて検討。

青森県北部上北広域事務組合 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・医療画像システムの導入による電子画像管理加算の算定については、当初計画どおり引き続き実施。
- ・訪問看護の実施及び医療安全対策、院内感染対策等に対して専従看護師を配置することによる医療報酬加算の取得については、当初計画どおり引き続き実施。
- ・乳がんドッグ、肺がんドッグ、心臓ドッグ及び一般健診については、当初計画どおり引き続き実施。
- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。(601,371千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成22年度)	平成23年度 (第2年度)	平成26年度 (第5年度)
当初計画 A			△302,408	△96,873	231,872
解消実績額 B			△280,862	△72,835	—
現在計画 C			—	△72,835	231,872
B-A 又は C-A			21,546	24,038	—
資金不足額		509,026	789,888	862,723	303,898

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初年度 (平成22年度)		平成23年度 (第2年度)		平成26年度 (第5年度)
	計画初年度の 前年度	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	実績値 23.1	37.9	37.1	44.5	41.6	14.0

兵庫県三木市 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1 計画と具体的な措置の状況

1 医師の確保

- ・平成 24 年度 4 月では医師 41 名体制となり、目標を 1 名上回る体制となった。

2 看護師の確保

- ・平成 23 年度は、昨年度に引き続いて院内に看護師確保プロジェクトチームを設置し、修学資金貸与制度の活用や看護学校の訪問など積極的な PR 活動を行い、平成 24 年 4 月には 24 名（うち新卒は 23 名）を確保することができた。

3 地域連携の強化

- ・平成 23 年度は、昨年度に引き続き、地域医療連携室だよりなど広報活動の充実を図るとともに、平成 23 年 4 月に開放型病床を導入した。

4 人件費の削減

- ・平成 23 年度は、平成 21 年 7 月から実施している医師以外の職種の給与の平均 7 % カットを継続して実施するとともに、昨年に実施した人員削減を維持した。

5 経費の削減

- ・平成 23 年度は、昨年度に引き続き、各種委託契約等の見直しや材料費の価格交渉を実施した。

6 一般会計からの支援

- ・資金不足解消のためには地方公営企業法に基づく高度医療や救急医療等の不採算経費に関する一般会計からの繰入(1,000,000 千円、ただし平成 25 年度は 500,000 千円)を継続するとしている。
- ・平成 23 年度は、昨年度に引き続き、当初計画どおり 1,000,000 千円の繰入れを行った。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
				計画値	実績値	計画値	実績値
当初計画	A		136,100	△ 295,000		△ 10,000	
解消実績額	B		269,985	△ 136,630		△ 226,305	
現在計画	C		-	-		△ 226,305	
B-A 又は C-A			133,885	158,370		△ 216,305	
資金不足額		1,101,100	831,115	967,745		1,194,050	

区分	年度	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)	
		計画値	実績値	計画値	実績値
当初計画	A	60,000		1,160,000	
解消実績額	B	-		-	
現在計画	C	94,000		3,049,050	
B-A 又は C-A		34,000		1,889,050	
資金不足額		1,100,050		-	

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率		23.6	20.6	17.9	23.7	19.4	21.7	23.2

資金 不足比率	年度	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)	
		計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率		20.7		-	

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・昨年度に引き続いて、経営健全化推進本部による進行管理を行った。

北海道釧路市 釧路市公設地方卸売市場事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費等の削減については、当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、概ね当初計画どおり実施。(97,760千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
当初計画 A			47,949	47,665	86,624	85,918
解消実績額 B			52,377	53,355	91,185	—
現在計画 C			—	—	91,185	85,918
B-A 又は C-A			4,428	5,690	4,561	—
資金不足額		268,156	215,779	162,424	71,239	—

備考 「現在計画C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)		平成 24 年度 (第 4 年度)	
	計画初年度の 前年度	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	
資金不足比率	実績値	450.3	371.7	354.6	286.1	259.7	140.8	113.9	—

大阪府大阪市 中央卸売市場事業会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1 計画と具体的な措置の状況

・収入における方策について

入居促進を実施（新規入居者数 4件）

（収入額）計画額 131,000千円→実績額 135,000千円（4,000千円増）

・支出における方策について

(1) 人員削減

（人員削減）計画値 0人→実績値 1人

（人件費）計画額 1,011,000千円→実績額 1,001,000千円（10,000千円減）

(2) 業務委託化の推進と物件費の増加抑制

（物件費）計画額 2,422,000千円→実績額 2,316,000千円（106,000千円減）

(3) 投資的経費の見直し

（建設改良費）計画額 5,666,000千円→実績額 6,355,000千円

整備事業にかかる年次工程の変更により実績額において、平成22年度が減少し、平成23年度が増加した。（累計額では計画よりも削減している）

・その他の資金収支を改善する方策について

資本費平準化債の発行 計画額 2,293,000千円→実績額 2,302,000千円

2 資金不足額解消の状況

（単位：千円）

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
当初計画 A		936,864	1,723,266	1,651,809	1,235,306
解消実績額 B		1,349,452	2,091,195	2,611,341	—
現在計画 C		—	—	2,611,341	1,235,306
B-A 又は C-A		412,588	367,929	959,532	—
資金不足額	12,658,410	11,308,958	9,217,763	6,606,422	5,371,116

年度 区分	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)	平成28年度 (第8年度)
当初計画 A	1,526,461	1,511,696	2,202,966	1,939,099
解消実績額 B	—	—	—	—
現在計画 C	1,526,461	1,511,696	2,202,966	1,939,099
B-A 又は C-A	—	—	—	—
資金不足額	3,844,655	2,332,959	129,993	—

備考 「現在計画C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	198.7	189.8	178.8	164.4	146.7	137.5	106.3

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)	平成 28 年度 (第 8 年度)
	計画値	計画値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	116.2	92.8	68.7	32.0	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 仲卸業者の経営基盤強化策の実施
中小企業診断士などの専門家派遣相談の継続実施 等
- ・ 市場の情報化への取組み
取引情報電子化に向けて情報の規格化を推進
- ・ 環境対策の推進
太陽光発電設備の維持管理 等

山口県岩国市 市場事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1 計画と具体的な措置の状況

- ・市場経由率の向上に伴う取扱高の維持により市場使用料収入を確保。
- ・空き店舗及び未利用地の有効活用による市場施設使用料の増収。
- ・経常経費の徹底した見直しによる営業費用の削減。
- ・計画を上回る一般会計からの繰入れを実施。(1,388,000千円)
- ・市場内業者の経営基盤強化を図るため、経営アドバイザーによる経営相談を実施。
- ・市場の活性化を図るため、イベントや市場見学会を通じ市場開放を実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		450,730	437,576	463,648
解消実績額 B		457,411	446,894	1,194,127
現在計画 C		—	—	1,194,127
B-A 又は C-A		6,681	9,318	730,479
資金不足額	2,307,876	1,850,465	1,403,571	209,444

年度 区分	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
当初計画 A	472,156	483,766
解消実績額 B	—	—
現在計画 C	209,444	—
B-A 又は C-A	△262,712	△483,766
資金不足額	—	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	1,492.8	1,220.9	1,264.3	974.7	997.4	657.1	154.9

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
	計画値	計画値
資金不足比率	334.9	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 資金不足額解消のための一般会計からの繰入れは、計画完了年度の平成 25 年度より 1 年早い平成 24 年度をもって完了する見込みであるが、平成 28 年度までは地方債償還のための繰入れを行い、平成 29 年度からは繰入金がなくとも黒字化する予定。
- ・ 指定管理者制度等の民間的経営手法の導入について研究・検討を進める。
- ・ 経営管理に精通した人材の育成や適正配置等、人事面での対策を講じる。

徳島県徳島市 徳島市立食肉センター事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1 計画と具体的な措置の状況

- ・計画の概略は、平成 22 年度から平成 25 年度までの 4 年間で総額 734, 129 千円の累積赤字を一般会計からの繰入によって解消し、資金不足比率を 0 %とするもの。
- ・平成 23 年度は、当初計画どおり一般会計から 183, 533 千円の繰入を実施し、累積赤字の減少を図った。

2 資金不足額解消の状況

（単位：千円）

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		—	183, 533	183, 533
解消実績額 B		—	183, 533	183, 533
現在計画 C		—	—	183, 533
B-A 又は C-A		—	—	—
資金不足額	734, 129	734, 129	550, 596	367, 063

年度 区分	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
当初計画 A	183, 533	183, 530
解消実績額 B	—	—
現在計画 C	183, 533	183, 530
B-A 又は C-A	—	—
資金不足額	183, 530	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	458.0	620.4	655.7	465.3	533.7	310.2	383.3

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
	計画値	計画値
資金不足比率	155.1	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・本市食肉センターの利用料金の確保及び増収に向けて、指定管理者制度を有効に活用し、業界と一体となった取組みを進める。
- ・平成 22 年度に設置した徳島県や指定管理者を構成員とする「徳島市立食肉センター活性化検討協議会」において、当食肉センターの経営基盤の強化や実効性のある活性化策について協議を進めている。

青森県新産業都市建設事業団 桔梗野工業用地造成事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 八戸市からの補助金の繰入れについては、当初計画どおり実施。(80,571 千円)
- ・ 他会計剰余金からの長期借入については、当初計画どおり実施。(1,197,000 千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
当初計画 A		527,844	644,853	80,689	80,422
解消実績額 B		527,844	644,929	79,933	—
現在計画 C		—	—	79,933	80,422
B-A 又は C-A		—	76	△756	—
資金不足額	3,406,388	2,878,544	2,233,615	2,153,682	2,073,260

年度 区分	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 36 年度 (第 16 年度)	平成 42 年度 (第 22 年度)	平成 48 年度 (第 28 年度)
当初計画 A	80,437	80,711	80,605	80,715	113,211
解消実績額 B	—	—	—	—	—
現在計画 C	80,437	80,711	80,605	80,715	113,891
B-A 又は C-A	—	—	—	—	680
資金不足額	1,992,823	1,912,112	1,105,637	621,166	103,132

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	453.8	383.5	383.5	297.9	297.8	287.1	287.4

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)
	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	276.4	265.7	254.9

年度 資金 不足比率	平成 36 年度 (第 16 年度)	平成 42 年度 (第 22 年度)	平成 48 年度 (第 28 年度)
	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	147.2	82.5	15.0

青森県新産業都市建設事業団 百石住宅用地造成事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ おいらせ町からの補助金の繰入れについては、当初計画どおり実施。(100,000千円)
- ・ 2区画分譲の当初計画に対し、4区画を分譲。
- ・ 他会計剰余金からの長期借入については、当初計画どおり継続実施。(643,000千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)
当初計画 A		744,760	104,000	104,000
解消実績額 B		731,395	105,934	107,834
現在計画 C		—	—	107,834
B-A 又は C-A		△13,365	1,934	3,834
資金不足額	1,676,133	944,738	838,804	730,970

年度 区分	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成30年度 (第10年度)
当初計画 A	104,000	104,000	104,000	99,373
解消実績額 B	—	—	—	—
現在計画 C	104,000	104,000	104,000	106,970
B-A 又は C-A	—	—	—	7,597
資金不足額	626,970	522,970	418,970	—

備考 「現在計画C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	980.9	562.3	563.4	542.0	546.6	493.3	608.5

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)
	計画値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	440.4	382.8	319.8	—

鳥取県米子市 流通業務団地整備事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・平成23年8月に分譲価格及び借地料の価格の見直しをし、分譲価格を約19%引き下げた。
- ・既進出企業が定期借地を分譲に切り替えたことにより分譲面積が拡大(約2,300平方メートル)した。また、新規で定期借地による進出(約9,200平方メートル)があり、団地利用率が約83.9パーセントに増加した。
- ・平成22年3月31日に策定した流通業務団地整備事業経営健全化計画に基づき、資金不足解消のために一般会計から100,000千円の繰入れをした。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成25年度 (第5年度)
当初計画 A			△130,252	△119,857	△117,079	2,641,904
解消実績額 B			△240,602	△202,993	△72,871	—
現在計画 C			—	—	△72,871	2,883,501
B-A 又は C-A			△110,350	△83,136	44,208	241,597
資金不足額		2,166,546	2,407,148	2,610,141	2,683,012	—

備考 「現在計画C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)		平成25年度 (第5年度)
	計画初 年度の 前年度	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	54.4	56.9	60.6	63.5	67.5	70.8	72.9	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・進出率100%を目指し、企業進出の促進を図る。
- ・資金不足の解消に向けて、一般会計から繰入れを行う。

山口県下関市 臨海土地造成事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 岬之町 1 番 57 の造成地 (8,999 m²) について、消防庁舎用地として 480,097 千円で一般会計へ売却した。
- ・ あるかぼーと東側地区について、平成 25 年度からの造成地貸付を目指し、貸付期間 10 年の事業用定期借地権を設定し、アミューズメント施設の用に供するために広く民間事業者を公募し、事業提案の応募があった。

2 資金不足額解消の状況

（単位：千円）

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成 23 年度)	平成 24 年度 (第 2 年度)	平成 32 年度 (第 10 年度)
当初計画 A			△155,432	△1,111,063	270,904
解消実績額 B			96,453	—	—
現在計画 C			96,453	△1,111,063	270,904
B-A 又は C-A			251,885	—	—
資金不足額		1,300,695	1,204,242	2,315,305	390,333

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

（単位：％）

資金不足比率	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成 23 年度)		平成 24 年度 (第 2 年度)	平成 32 年度 (第 10 年度)
		実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率		25.8	32.4	26.8	60.1	17.5

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 平成 24 年度に、公債費の利子負担を軽減するため、基金からの借入金を原資に、起債残高の繰上償還を行う予定。
- ・ ホームページに売却用地の情報を掲載するとともに、企業誘致の観点から部局間で連携し、積極的な販売促進活動を行う。

香川県坂出市 坂出港港湾整備事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・当初計画のとおり、臨海部土地造成事業を会計分離し、第三セクター等改革推進債により事業を廃止した(平成22年3月31日)。
- ・当初計画のとおり、一般会計から繰出し(21年度 50,000千円 22年度 31,000千円 23年度 31,000千円)を行い、累積赤字の解消に充てた。
- ・一時借入金利息の負担軽減を図るため、基金からの資金運用を行った。
- ・港の利用率向上を図るため、パンフレットやホームページの作成を行った。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
当初計画 A			1,012,807	47,530	48,012	51,134
解消実績額 B			1,017,400	56,006	51,227	—
現在計画 C			—	—	51,227	34,851
B-A 又は C-A			4,593	8,476	3,215	△16,283
資金不足額		1,159,483	142,083	86,078	34,851	—

備考 「現在計画C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)		平成24年度 (第4年度)		
	計画初 年度の 前年度	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
資金不足比率	実績値	4,375.0	623.6	579.6	405.1	337.6	208.9	151.6	0.0	—

青森県黒石市 下水道事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・一般会計からの繰入金については、当初計画どおり実施。(541,845千円)
- ・料金改定については、平成23年8月分の請求から実施。(改定率9.4%)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
当初計画 A			△88,401	33,692	1,072,139	509,259
解消実績額 B			△60,820	245,012	1,047,669	—
現在計画 C			—	—	1,047,669	509,259
B-A 又は C-A			27,581	211,320	△24,470	—
資金不足額		1,526,689	1,587,509	1,342,497	294,828	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)		平成24年度 (第4年度)	
	計画初年度の 前年度	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	
資金不足比率	実績値	515.1	540.8	534.3	528.9	441.9	154.9	92.5	—

青森県弘前市 岩木観光施設事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・料金体系の見直しについては、検討の結果、現状維持。
- ・入込客数については、豪雪の影響で昨年度を若干下回ったものの、ニーズに合わせた商品及びサービスの充実、底辺拡大イベントの開催を実施した結果、イベント参加者数は増加。
- ・一般会計からの繰入れについては、計画より増額して実施。(224,650千円)
- ・大規模改修については、経費支出の平準化と軽減を図るため、計画的なメンテナンススケジュールを組んで実施。
- ・指定管理内容の検討については、平成22年度から見直しを実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成27年度 (第7年度)
当初計画	A		10,994	9,261	118,379	130,272
解消実績額	B		6,793	11,443	162,996	—
現在計画	C		—	—	162,996	95,895
B-A 又は C-A			△4,201	2,182	44,617	△34,377
資金不足額		664,747	657,954	646,511	483,515	—

備考 「現在計画C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成27年度 (第7年度)
		実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率		1,879.4	1,789.4	2,106.3	1,815.4	1,955.2
					計画値	実績値
資金不足比率					1,482.0	1,430.8
						計画値
資金不足比率						—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・弘前市内の4スキー場のあり方等について、庁内関係課による検討会議で方針を決定。

青森県黒石市 温泉供給事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・事務管理委託料の見直しについては、当初計画どおり経費節減を実施。
- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。(24,740千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A			21,065	24,521	23,349	25,572
解消実績額 B			24,731	26,571	20,983	—
現在計画 C			—	—	20,983	25,572
B-A 又は C-A			3,666	2,050	△2,366	—
資金不足額		165,435	140,704	114,133	93,150	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)		平成 27 年度 (第 7 年度)	
	計画初 年度の 前年度	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	
資金不足比率		1,417.3	991.7	955.0	815.4	693.6	656.5	585.1	—

青森県黒石市 観光施設事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。(73,732千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A			28,058	28,622	29,197	27,648
解消実績額 B			31,695	28,943	31,986	—
現在計画 C			—	—	31,986	27,648
B-A 又は C-A			3,637	321	2,789	—
資金不足額		204,686	172,991	144,048	112,062	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)		平成 27 年度 (第 7 年度)
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率		9,308.1	8,032.2	8,163.8	6,730.6	5,504.3	5,402.9	5,082.1	—

石川県白山市 白山市観光事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・資金不足額の解消として白山一里野温泉スキー場について、前年度に107,970千円前倒ししたこともあり、当初計画を下回る177,019千円を一般会計から繰り入れ。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
当初計画 A			502,743	—	200,000	170,675
解消実績額 B			503,375	107,970	177,019	—
現在計画 C			—	—	177,019	85,054
B-A 又は C-A			632	107,970	△22,981	△85,621
資金不足額		826,498	370,043	262,073	85,054	—

備考 「現在計画C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
		実績値	計画値 実績値	計画値 実績値	計画値 実績値	計画値
資金不足比率		202.7	88.5 85.4	121.1 146.6	68.3 47.8	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・指定管理者からの実績報告に基づくモニタリングにより、仕様書に基づくサービスの提供が確保されているかを確認・指導。
- ・指定管理者(株)SAM白山)設立当初(H19.11)から、経営参画のため、副市長が取締役として就任している。

奈良県宇陀市 保養センター事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・平成 22 年 10 月 1 日より株式会社休暇村サービスによる指定管理による運営管理をおこなっており、同平成 22 年 10 月 1 日より宇陀市保養センター事業特別会計は、宇陀市商工観光課の主管となり、引き続き宇陀市保養センター事業特別会計とその経営健全化計画の管理をしていくことになった。
- ・一般会計からの繰入については、当初どおりに実施した。(100,000 千円)
- ・資金不足額及び資金不足比率は、前年にくらべて減少はしたが、指定管理者による営業収益の当初計画に比べての減少等の要因により、当初計画どおりの実施には至らなかった。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分 \ 年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		98,216	64,200	△144,581
解消実績額 B		43,911	△6,909	91,870
現在計画 C		—	—	91,870
B-A 又は C-A		△54,305	△71,109	236,451
資金不足額	1,276,441	1,232,530	1,239,439	1,147,569

区分 \ 年度	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 28 年度 (第 8 年度)	平成 32 年度 (第 12 年度)
当初計画 A	70,480	161,668	147,247
解消実績額 B	—	—	—
現在計画 C	70,816	161,668	147,247
B-A 又は C-A	336	—	—
資金不足額	1,076,753	676,162	80,123

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	275.1	267.8	291.2	237.0	333.7	251.7	316.1

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 28 年度 (第 8 年度)	平成 32 年度 (第 12 年度)
	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	224.2	127.6	15.1

山口県美祢市 観光事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・本市独自の 15 秒のテレビCMを製作し、北部九州及び山口地域への放映を行うなど各種媒体を通じた積極的な広告宣伝、観光キャンペーン等を展開。
- ・山口県・国際観光推進協議会と連携し、海外（中国・台湾・韓国）からの観光客の誘致活動を実施。
- ・組織改編により正規職員を 8 名減とし、委託職員で対応。
- ・トロン温泉について、営業時間を 1 時間短縮。また、休業日の見直しを実施。
- ・秋吉台家族旅行村と秋吉台リフレッシュパークの一体管理による指定管理者制度の導入を検討。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)
当初計画 A			159,138	250,215	264,543	132,072
解消実績額 B			221,882	184,998	219,420	—
現在計画 C			—	—	219,420	179,668
B-A 又は C-A			62,744	△65,217	△45,123	47,596
資金不足額		1,312,648	1,090,766	905,768	686,348	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)			
		実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値		
資金不足比率		169.5	141.1	135.2	113.1	128.7	77.8	93.2	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・美祢市総合観光振興計画を策定し、振興策と経営健全化について、平成 26 年度までに優先的に実施する重点プロジェクト 9 項目を策定。
- ・養鱒場について、販路拡大及び施設改修等、釣り堀での使用料収入の増加を目指した取組みを実施。
- ・秋芳洞内の照明改修事業（LED化）により施設のイメージアップを図ると共に洞内の照明に係る電気料金を 14%削減。
- ・経営管理能力向上のための職員研修及び来客者の満足度を高める接客研修を実施。

高知県高知市 国民宿舎運営事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・平成 23 年度の計画では、収益的収入については前年度実績額より 17,970 千円減の 339,510 千円、それに伴う収益的支出については前年度実績額より 9,823 千円減の 319,504 千円と見込んでいたが、収益的収入の実績額については東日本大震災の影響による宿泊キャンセル及び高速道路料金の休日上限千円の制度の廃止による利用者数の減により 297,827 千円と計画を下回り、収益的支出の実績額については材料費比率の低減及び管理経費等の削減に努めたものの、指定管理者である高知市桂浜公園観光開発公社の一般財団法人移行に伴う正職員の退職金清算による支出額が増加したため、327,934 千円と計画を上回る結果となった。
- ・計画と比較して、収益的収支については 50,113 千円の減少、資金不足額については 18,674 千円の増加となり、平成 23 年度の資金不足比率については、計画値 247.1% に対し、実績値 279.7%となった。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分 \ 年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		△35,907	△97,249	60,060
解消実績額 B		△28,087	△87,944	48,850
現在計画 C		—	—	48,850
B-A 又は C-A		7,820	9,305	△11,210
資金不足額	765,310	793,397	881,341	832,491

区分 \ 年度	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A	73,620	85,968	△4,469	145,573
解消実績額 B	—	—	—	—
現在計画 C	61,825	85,968	△4,469	145,573
B-A 又は C-A	△11,795	—	—	—
資金不足額	770,666	684,698	689,167	543,594

区分 \ 年度	平成 28 年度 (第 8 年度)	平成 29 年度 (第 9 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)	平成 31 年度 (第 11 年度)
当初計画 A	136,497	136,497	136,498	136,497
解消実績額 B	—	—	—	—
現在計画 C	136,497	136,497	136,498	136,497
B-A 又は C-A	—	—	—	—
資金不足額	407,097	270,600	134,102	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 \ 資金不足比率	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	238.0	248.0	240.2	250.5	246.7	247.1	279.7

年度 \ 資金不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)	平成 28 年度 (第 8 年度)
	計画値	計画値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	225.4	200.1	201.4	158.5	118.2

年度 \ 資金不足比率	平成 29 年度 (第 9 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)	平成 31 年度 (第 11 年度)	備考
	計画値	計画値	計画値	平成 23 年度の計画値と実績値の差異については、計画と比較して収益の減少及び退職金の支出が増加したため
資金不足比率	78.0	37.7	—	

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・平成 22 年度から 15 年間にわたり改築資金の起債元金について一般会計から繰入を行い、資金不足比率の改善を図る。

北海道釧路市 釧路市設魚揚場事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・施設管理費等の削減については、当初計画どおり実施。
- ・一般会計からの繰入れについては、概ね当初計画どおり実施。(407,726千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)
当初計画 A			287,301	281,218	298,407	297,934
解消実績額 B			279,469	271,397	297,423	—
現在計画 C			—	—	297,423	297,934
B-A 又は C-A			△7,832	△9,821	△984	—
資金不足額		2,913,900	2,634,431	2,363,034	2,065,611	—

備考 「現在計画C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)		平成 30 年度 (第 10 年度)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	
資金不足比率		実績値	2,933.9	2,854.7	3,320.5	2,555.4	3,117.3	2,230.2	2,503.2	—